

「マスクはどうなる」

新型コロナウイルス感染症に関し、厚生労働省が一昨日に発表した国内の新たな感染者は、空港の検疫などを含め9423人となった。月曜日ということもあるが、1日あたりの新たな感染者が1万人を下回るのは、およそ7ヶ月半ぶりだという。

そんな中、今年ゴールデンウィーク明けの5月8日に、新型コロナウイルスが感染症法上の分類で季節性インフルエンザなどと同じ「5類」に移行するという。5類に移行されると、緊急事態宣言やまん延防止等重点措置が取られるなど、特別な行動制限を要請されることがなくなる。また、入院や診療ができるのは感染症指定医療機関や発熱外来など一部の医療機関だけだったが、幅広い医療機関で対応できるよう、段階的に移行される。2類では入院や検査にかかる医療費は全額公費負担だが、5類移行後は原則、一部が自己負担になる。ただ、当面は公費での負担を継続するともいわれている。これでコロナ禍が収束したといえればいいのだが、新しい変異株のために、再び感染の波が訪れるのは否定できないだろう。

気になるのがマスクの着用。新型コロナウイルス対策としてのマスクの着用について、厚生労働省のリーフレットには、来月13日から屋内外を問わず個人の判断が基本となるとしている。ただし、周囲の方に感染を広げないために、①受診時や医療機関・高齢者施設などを訪問する時、②通勤ラッシュ時など混雑した電車・バスに乗車する時には注意が必要とし、高齢者や基礎疾患を有する方、妊婦は自身を感染から守るために、マスクの着用が効果的としている。テレビのニュースを見ると、感染防止ではなく、マスクを付けている環境が3年も続いたため、外すのを拒む人も多く、かなりの比率でマスクを外さない人がいると伝えている。

3月20日には卒業式、4月7日には入学式がある。文部科学省では、児童・生徒と教職員は式典全体を通じてマスクなし、来賓や保護者等はマスク着用を基本として示している。様々な意見はあるだろうが、本校は足立区立の中学校なので、足立区教育委員会の方針に合わせて対応していく。

2月15日 校長 鈴木 幸雄

◆問題 正20面体は、すべての面が合同な正三角形で、1つの頂点に集まる面の数はすべて5つです。さて、この正20面体の①辺の数と②頂点の数を、計算式を作って求めなさい。